

宿縁

十月号

千葉県市川市国府台五丁目二十六番三十九号
浄土真宗 本願寺派 中原寺
TEL 0477-372102
FAX 0477-372102

浄土とは 目覚めを

喚起せる発信地なり



昨今の世情は常に落ち着かず、人の言動は虚しいことばかりが目立ちます。ことに爽やかな秋の季節とは裏腹に衆議院の解散による選挙の報道は「もういい加減にしてくれ！」と思わずにいられません。よくよく親鸞聖人の「煩惱具足の凡夫、火宅無常の世界は、よろづのこと、みなもつてそらごとたわごと、まことあることなきに、ただ念仏のみぞまことにておわします」（歎異抄）とのお言葉を思い知らされます。でもお互い気をつけなければならぬの

は、だからといってやけっぱちやニヒリズム（虚無主義）に陥って念仏に逃げ込むことではありません。

このたびノーベル平和賞に「核兵器廃絶国際キャンペーン I CAN (アイキャン)」が選ばれました。詩で、小説で、そして多くの証言で、長きにわたり被爆者の手で、核兵器破壊の現実が伝えられ、それが世代も国境も超えた市民運動となりました。

この I CAN (アイキャン) とは核兵器廃絶国際キャンペーンの略称だそうです。英語の I can (私は：出来る) と読めるところに心が動きます。アメリカの前大統領オバマ氏の名言集の一つにも Yes we can! (私たちにはできる!) という発言がありました。

人種や国境や民族を超えたすばらしい言葉だと思えます。

ある新聞に掲載された日本の小説家・詩人、原民喜(1905~1951)の「原爆小景」の詩はあまりにも強烈です。みんなで読み聞かせ、考えたいものです。

コレガ人間ナノデス

コレガ人間ナノデス
原子爆弾ニ依ル変化ヲゴラン下サイ
肉体ガ恐ロシク膨脹シ
男モ女モスベテ一ツノ型ニカヘル
オオ ソノ真黒焦ゲノ滅茶苦茶ノ

爛レタ顔ノムクンダ唇カラ洩レテ来ル声ハ
「助ケテ下サイ」
ト カ細イ 静カナ言葉
コレガ コレガ人間ナノデス
人間ノ顔ナノデス

水ヲ下サイ

水ヲ下サイ アア 水ヲ下サイ
ノマシテ下サイ
死ンダハウガ マシデ 死ンダハウガ
アア
タスケテ タスケテ 水ヲ 水ヲ
ドウカ ドナタカ
オーオーオーオー
オーオーオーオー
天ガ裂ケ 街ガ無クナリ
川ガ ナガレテキル
オーオーオーオー
オーオーオーオー
夜ガクル 夜ガクル
ヒカラビタ眼ニ タダレタ唇ニ
ヒリヒリ灼ケテ
フラフラノ コノ メチャクチャノ顔ノ
ニンゲンノウメキ
ニンゲンノ

人間が手に入れてしまった破壊の火を人間が消していくためには一人ひとりの真摯な考えと地道な行動しかありません。そしてそのバックボーンとなるものが何かがとても大切なことです。仏教を学びその教えに生きようとするとするものにとつては、人間の心が判定する善悪や愛の基準ではなく、ブ

ッダ釈尊がさとられた仏の真理によらねばなりません。親鸞聖人は釈尊が經典に示された「浄土」に立つことを教えてくださいました。つまり世間愛欲の中に生きる私たちにとつての居場所が浄土です。

浄土とは空想や妄想の世界ではありません。どこかここから離れた安全な場所にあるといった人間感覚の延長上のもものではありません。自己保身に身を費やす私たちの身心の根底を突き破り動かす、真実あらしめようとする如来の呼び声の発信地です。それを「南無阿弥陀仏」といいます。万事につき、

そらごと、たわごとに染まりきった私をして、立脚地であり、自他共に生きようとするエネルギーの源といつてもいいでしょう。すべてを包みこむ真理のはたらきに迷いを迷いとも知らず流転する人間を憐れんで、釈尊をして救いの表現を比喻の物語にして私たちに伝えました。だから帰すべき処が浄土です。浄土とは仏国土とも言いますがあらゆる人々を立ち上がらせるような力をもつた場、つまりわれわれが本当に立てる場を浄土と教えるのです。

親鸞聖人は「心を弘誓(ぐぜい)の仏地に樹(た)て」と申され、樹木が立つように仏の大地に立つのだとおっしゃいました。

仏教を学びその教えに生きようとするものは、人間愛を超えた仏の大慈悲心に触発され、限らないエネルギーを身に受けて、この世の課題に向かつて状況や自己の能力に応じて精いっぱい努める生き方なのです。

私の不実な心を主とするのではなく、南無阿弥陀仏を主とするところに念仏者のいのちの輝きが生まれることを信じます。

【寺灯雑記】

○秋の彼岸会法要で前任職が法話

9/23

季節の移ろいを感じるお彼岸のお中日。本堂には仏説阿弥陀経を誦するご参詣の皆さまの声が心地よく響き渡りました。法話は「仏法のこととは急げ」と題して前任職が、「仏法には明日と申すことあるまじく候ふなり。」(蓮如上人御一代記聞書)とある言葉を通し、暑さ寒さも彼岸までとの諺からも日本独自の彼岸会の仏事の意味するところを話されました。

そして私たちが生まれ行く彼岸に浄土の世界をドラマ「北の国から」の父と娘の一面を喩えとしながら、苦悩の人生にさまざまのすべてに阿弥陀如来の願心は届けられているのだとお聞きしました。

○門信徒会役員会を開く

10/7

今年度第4回定時役員会は14名が出席して開かれ、特に左記の議題について熱心に討議検討されました。

一つは恒例の夏に行われている門信徒ファミリーパーティーの行事内容と開催時期について、今一つは宿縁廟納骨に関する今後のありかたなどについてでした。

○千葉組の第8期連続研修会が始まる

10/8

仏教、浄土真宗を初歩から学ぶ、二年間計13回の連続研修会の初回が始まりました。当寺が所属する県内北ブロックでは

受講者28名(中原寺から5名)でスタート、12の問いを設けながら一つのテーマのもとに、自分たちの素直な問い(迷い、悩み、疑問)を出し合い聞き合う中からお念仏に触れていくことを目的に行っています。開講式は柏市の正満寺さんを会所に自己紹介と基本的作法を学びました。

○当寺で3回目の「子育てサロン」

10/10

今年7月から地域の活性化の一助となればと、市川市の社会福祉協議会が母体となる「子育てサロン」の会場を毎月提供してありますが、参加がその都度増えてこの日は9組の親子が集まって賑やかでした。

人間関係が希薄となっている中、子育てを共通の話題として、いろいろな親子と出会い、悩みを気軽に話したりアドバイスを受けたりと楽しくおしゃべりする場です。毎月第2月曜日の11時から2時までで、当寺の婦人会もお手伝いしています。どうぞ子育て中の親子のみなさん気軽にお出かけ下さい。

【法要・行事・法座の案内】

☆第29回文化講演会

*日時：十月二十一日(土)

一時半開演

*講師：西館好子先生

(日本子守唄協会理事長)

*講題：「仏教、時代、子守唄」

―子守唄からみえてきた現代―

*会場：山崎製パン企業年金基金会館

*無料

☆親鸞聖人茨城古跡寺院参拝旅行

*十月二十四日(火)～二十五日(水)

市川駅北口(花くめ)前、8時出発
上宮寺(明法房)→国宝白水阿弥陀堂→磯原温泉→無量寿寺(順信房)等
全行程観光バス

○和讃に学ぶ(正像末和讃)

十月二十八日(土) 三時

○浄土園収穫祭

十一月三日(祝日) 十時

○お仏具磨き清掃奉仕

十一月四日(土) 十時

○婦人会、壮年会合同法座

十一月四日(土) 一時半

講師：小野寺容氏(気仙沼)

東日本大震災の被災地で支援物資の中で、継場所となり、それが被災者へどう配布されたか、寄贈へのお礼を兼ねて大震災の模様を語って下さい。

○他寺交流グランドゴルフ大会

十一月十日(金) 正午

場所：松戸 金ヶ作公園

(当日雨天の場合は十五日)

○子育てサロン(パンダっ子)

十一月十三日(月)

十一時～二時

☆報恩講法要修行

*十一月二十日(月)

(夕暮れから参道に和紙絵灯籠が灯ります)
五時：親鸞聖人を讃える音楽の夕べ
琴演奏―是木津子さんとお仲間
五時半：速夜法要(初夜礼讃)
引き続き法話(住職、前任職)
おとき(あずき粥接待)

*十一月二十一日(火)

六時半：晨朝勤行(正信偈)
十一時：日中法要(重誓偈)
引き続き法話① 松岡満優師
人生を貫く念仏―愛別離苦を超えて

正午：おとき(精進料理接待)
一時：満座法要(正信偈)
引き続き法話② 松岡満優師
人生を貫く念仏―愛別離苦を超えて

☆スリランカの世界遺産仏跡の旅募集中

日程：平成三十年三月四日(日) 出発

三月十日(土) 帰国

成田→コロンボ往復直行便

(ホテル5泊機中1泊7日間)

旅行代金 二四五、〇〇〇円(2人1室)

二九七、〇〇〇円(1人1室)

募集人員：10名

申込み：申込金5万円を添えて旅行会社

インドウェーブへ(十月末日迄)

TEL 0368087467番

企画主催：中原寺(詳細はお尋ねください)

【十月の掲示板のことば】

いのちは

私の所有物じゃない